

授業科目名/Course Title	企業と社会連携		
担当者名/Instructor	田村太郎、額田春華、井上洋		
授業コード/Registration Code	102103401	開講年度学期/Academic Year, Semester	2024年度後期
開講期・授業区分/Class Category	週間授業	単位数/Credits	2.0単位
年次/Year（※履修しうる最低年次を表示）	1年	ナンバリング/Course Numbering	FER-A1-5-1-03-1
授業の概要/Course Summary	<p>経済のグローバル化や気候変動の進展に伴い、これまでのアプローチでは持続可能な社会の維持が困難な状況が生じている。これまでは行政や非営利組織の役割とされてきた「社会課題の解決」において、企業に期待される役割が大きく変化している。この授業ではこうした社会の変化を俯瞰しながら、変化する社会課題や解決手法、担い手のありようについて基礎的な知識を身につけるとともに、企業に求められる役割やビジネスによる社会課題の解決に焦点を当て、具体的な解決手法の考え方を学ぶ。担当する教員3名はそれぞれに大企業・中小企業・ソーシャルアントレプレナーによる課題解決に深く携わっており、理論だけでなく実践に必要な視点と行動力が持てるよう、グループ演習なども取り入れながら授業を進行していく。（「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目）</p>		
授業の方法/Course Approaches or Methods	<ul style="list-style-type: none"> ・講義に加え、授業テーマに応じたディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。 ・演習等で使用するので、ノートパソコンまたはiPad等のタブレット端末、manaのコンテンツに前日17時ごろまでにアップされる配布資料を持参すること。またそれ以外のもが必要な場合には、コンテンツのところに担当者から指示を入れる 		
授業の方法（アクティブ・ラーニングの種別）/Type of Active Learning	A. PBL（課題解決型学習）/D. グループワーク/E. プレゼンテーション		
学生に対する教員からのフィードバック方法/Ways to Give Feedback to Students	各回のテーマに関連したショートレポートや課題の提出を求める。提出方法や提出物へのフィードバック方法は授業で適宜説明する。		
学位授与方針との関係/Relations with Diploma Policy	JWU社会連携科目DP		
授業の到達目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な社会に向けた諸課題やその解決のための取り組みについて、自分なりの見解を持つことができる。 ・ 企業による社会課題へのアプローチについての歴史や特徴、行政や非営利組織による取り組みと比べた強みや弱みについて理解し説明することができる。 ・ 社会課題の解決に資するビジネスプランを構想し、的確に人に伝えることができる。 		
授業計画（半期14項目、通年28項目 回数毎の内容含む）/Course Plan	<p>以下の内容で構成する。ゲストスピーカーの登壇を予定しており、都合で回を前後する場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 9/20(額田) イントロダクション 9/27(井上) 企業の社会的責任とマネジメント (1) 渋沢栄一の「道德経済合一論」と企業の社会貢献活動 10/4(田村) 社会課題へのアプローチとソーシャルビジネス (1) 対象とする課題と目標とする状態の設定について 10/18(田村) 社会課題へのアプローチとソーシャルビジネス (2) ソーシャルビジネスにおける商品・サービスの開発手法 (ゲストスピーカー・社会起業家) 10/25(井上) 企業の社会的責任とマネジメント (2) 現代企業の付加価値創造、バリューチェーンの構築 11/01(額田) 企業の社会的責任とマネジメント (3) 企業の視点から見た望ましい消費者との関係 (経団連事務局よりゲストスピーカー) 11/08(井上) 企業の社会的責任とマネジメント (4) 国際化とグローバル・サプライチェーンの合理性・健全性 11/15(額田) 企業の社会的責任とマネジメント (5) 企業の事業活動を通じた社会課題の解決 (経団連会員企業よりゲストスピーカー) 11/22(井上) ダイバーシティ&インクルージョンと社会連携 11/29(額田) ソーシャルアントレプレナー (1) ダイバシティ&インクルージョン (ゲストスピーカー・社会起業家) 12/06(額田) ソーシャルアントレプレナー (2) 地域経済とコミュニティの再生 12/13(田村) 社会課題へのアプローチとソーシャルビジネス (3) 社会課題を解決でできるエコシステムの形成 12/20(額田) ビジネスプラン作成の実習 01/10(田村) ソーシャルビジネスのプラン発表と相互評価 		
授業形態の種類/Type of Teaching Methods	A. 対面授業		
授業形態の種類（詳細）※必ずmanabaも確認すること。	対面での講義形式で実施するほか、事前に動画等の視聴を指示することがある。		
成績評価の方法/Methods of Evaluation	13回までの各回の授業で提出するレポートやグループワークでの発表内容または報告資料（60%）+ 14回に発表するビジネスプランの内容（40%）		

授業外学修（準備・事後学習等に必要な時間・具体的な内容）/Prep&Review	<ul style="list-style-type: none"> • おおむね30分程度の所要時間を想定した事前または事後の課題を課す。 • 関心のある社会課題に関するニュースや記事を、日ごろから収集しておいてほしい。
授業外学修（※参照用）/Prep&Review for reference	<p>授業外学習については以下を確認してください。</p> <p>https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/unvfile/academics/curriculum/tani_gakushu.pdf</p>
使用テキスト/Text to be used	なし
使用言語/Language	日本語・その他
参考書（参考資料等）/Reference Books	なし
その他（受講生への要望）/Notes, Message to Students	<ul style="list-style-type: none"> • 自ら考え、行動する積極的な姿勢で臨むこと • 資料を印刷して持参するように指示が出ているときには必ず「印刷して」持参すること。 • 個別指導コレクションを学生からも発信できるよう設定しているので必要に応じて活用すること。複数教員で担当する授業のため、教員へ連絡を入れる場合にはタイトルの前に【〇〇先生へ】を必ず入れること → タイトル例：【額田先生へ】授業内容に関する文献紹介のお願い
学位授与方針（※参照用）/Diploma Policy	<p>学部</p> <p>https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000afr0-att/syllabus_DP_code_unv.pdf</p> <p>大学院</p> <p>https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000d6gg-att/syllabus_DP_code_grd.pdf</p>
授業形態の種類について（※入力にあたっての注意事項）	<p>2024年度は原則として対面で授業を行います（一部遠隔授業科目を除く）。</p> <p>対面授業と遠隔授業（同時双方向型及びオンデマンド専用型）の区分は以下のとおりとする。</p> <p>対面授業</p> <p>遠隔授業対象区分以外の全ての授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではZoom・manaba等を用いた双方向型遠隔授業とすることができる。）</p> <p>同時双方向型…対面授業と同様に曜日・時限を設定し教室配当を行う。</p> <p>Zoom等を用いた同時双方向型遠隔授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではmanaba等を用いた双方向型遠隔授業とすることができる。）</p> <p>オンデマンド専用型…オンデマンド専用型曜日・時限を設定し教室配当を行わない。</p> <p>manaba等を用いた双方向型遠隔授業科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面で実施しない教養科目（月・火・水・金6時限） ・教養科目以外のオンデマンド科目用に、木4・5時限をオンデマンド専用時間帯として設定する。（教養科目以外は、通常の曜日・時限にもオンデマンド科目を置くことができる。） <p>※ご担当科目の授業形態が不明の場合には、ご担当科目の科目区分責任者にお問い合わせください。</p>
「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表（※参照用）	<p>https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ct6r0e0000009bmr-att/kyoin_kamoku.pdf</p>